

国際ゾンタ26地区エリア1 エリアディレクター 神部眞理子
10月1日現在 エリア1会員数 120名

ご挨拶

木々の葉が色づき始め、秋の深まりが感じられるようになりました。この間、数十年に一度という巨大台風が何度も日本を襲い、各地に大きな被害をもたらしました。被害に遭われた方々のご無事と一日も早い復興を祈りたく思います。

さて、来る11月25日から12月10日までは、「Zonta Says NO」の月間です。女性への暴力が初めて「人間としての権利を侵害するもの」として討議されたのは、1993年6月のウィーンでの世界人権会議の場です。これに基づいて同年の国連総会に「女性に対する暴力の根絶に関する宣言」が採択されました。それから30年が経過しましたが、まだまだ世界では女性に対する暴力が横行しています。それは、性に基づく暴力行為で、公的、私的に関わらず、身体的、心理的、社会的に危害または苦痛をもたらすもので、断固として反対せねばなりません。毎年、ゾンタでは、この期間に様々な活動を行ってきましたが、今年もそれぞれに検討し、行動を起こして頂きたいと思っております。

ところで、6月11日の地区大会パートIIにて福島ゾンタクラブが「会員リクルートクラブ賞」を受賞されたことは皆様ご承知と思います。今回は、同クラブ山川会長様に、新入会員3名、旧郡山ZC会員の復帰1名をどのように勧誘されたか具体的に報告して頂きました。また、ゾンタは「女性の問題解決は男性にも共に取り組んでもらおう」という認識で男性会員を増やすことを推奨しております。男性のクラブ会長を初めて選出した山形ゾンタクラブの活動はエリア1にとって快挙です。同クラブ土屋会長様にも、入会の経緯などをお聞きしました。是非参考にして頂きたいと存じます。

神部

26地区エリア1エリアディレクター活動報告

- 8月2日 国際ゾンタ26地区第2回地区理事会(ZOOMにて)
- 8月18日 国際ゾンタ26地区第3回地区理事会(ZOOMにて)
- 9月2日 国際ゾンタ26地区第4回地区理事会(ZOOMにて)

退会会員

福島ゾンタクラブ 山田栄子様(8/31)

仙台!

活動報告

- 8月 夏休み。各委員会ごとに「夏の委員会」を開催し、膝を交えて課題を検討し、親睦を図る。
- 9月6日 理事会
- 9月20日 例会

*会長
菊地典子

*会員数
29名

卓話；「リプロネット宮城」の紹介。

リプロネット宮城代表村口きよ女性クリニック院長 村口喜代先生
女性の健康と人権が守られる社会の実現を目指し1998年に設立。
故永池博子代表（仙台のチャーターメンバー）。性の健康を課題に時代の流れとともに認識の進化を図りながら取り組み続けたあゆみを紹介。

仙台自立の家のお菓子販売協力

イベント案内

- 10月18日 例会 卓話；宮城学院女子大学 宮原育子教授
- 11月23日 移動例会 鳴子峡紅葉狩りバスツアー

11月 ZONTA Says NOキャンペーン開催

キャンペーン用のチラシ作成；500部印刷、ホームページへ掲載
キャンペーン用の写真撮影予定、ホームページへ掲載
来年のローズデー講演会やチャリティーコンサートでも配布予定



村口喜代先生の卓話
「リプロネット宮城」

活動報告

- 8月 3日 理事会 8名参加
 8月 17日 例会は、コロナウイルス感染症感染拡大のため休会
 9月 7日 理事会 7名参加
 9月 21日 例会（会員18名中11名参加）：根津会員による卓話
 テーマ；函館の歴史について「戦前・戦中・戦後を生きて」

*会長
水野幸子

*会員数
18名

記念行事

函館ゾンタクラブは来年50周年を迎えるので、50周年記念式典を開催する予定。
 その参考とするためにも、会長他2名は、7月31日開催の東京Iゾンタクラブ60
 周年式典に参加した。

イベント案内

- 10月 19日 例会 函館未来大学准教授バゲンダ・ドミニク氏を迎え、卓話予定
 神部真理子ADのクラブ訪問予定
 11月 23日 会員の親睦を図るため、移動例会予定

活動報告

- 8月 9日 理事会：奨学金贈呈奨学生の紹介、エリアミーティング進捗確認
 18日チャリティーコンサートの準備
 8月 23日 例会：奨学金贈呈奨学生の紹介、エリアミーティング進捗確認
 18日チャリティーコンサートの準備
 9月 13日 理事会：奨学金贈呈留学生の選定、エリアミーティング進捗確認
 18日チャリティーコンサート最終打合せ
 9月 20日 例会：奨学金贈呈留学生の選定、エリアミーティング進捗確認
 奨学生選定基準について
 札幌IRISとの共同活動について、お誕生会

*会長
酒匂桂子

*会員数
14名

イベントの報告

- 9月 18日 チャリティーコンサート開催
 会場；札幌プリンスホテル国際館パミール 207名出席

イベント案内

- 10月 神部エリア1ADのクラブ訪問
 11月 エンパワメントクラブ勉強会
 12月 クリスマス会
 札幌インターナショナル参加
 北大留学生と市内高校生（Zクラブ参加）の英語による交流の活動支援



チャリティーコンサート

活動報告

- 8月 10日 例会 スピーチコンテスト アトラクションはゾンタのDVD
 今年度の寄付先検討
 納涼会 ミニオークション
 8月 31日 理事会 スピーチコンテスト
 寄付先 クラブ制服について
 9月 14日 例会 スピーチコンテストのタイムスケジュール
 ゾンタクラブロゴについて
 寄付先 ビンゴ大会の時贈呈
 制服、ジャケットについて その他
 9月 28日 理事会 スピーチコンテスト最終検討

*会長
川村隆枝

*会員数
16名

イベント案内

- 10月 19日 外国人によるスピーチコンテスト
 12月 17日 チャリティークリスマスビンゴ大会

その他

盛岡

地区大会で個人アワードを提出できなかったため、その後提出し、柴田、澤野、松見、赤坂、國分の5名受賞



盛岡ゾンタクラブの基礎を作ってくれた方々

札幌IRIS

*会長
岡部道子

*会員数
10名

活動報告

- 8月 14日 理事会・例会 移動例会の予定をコロナ対策のため、取り止め
- 9月 12日 理事会・例会 地区から送付文書の理解に努めた
2月5日イベント打合せ
- 9月 18日 札幌IIゾンタクラブチャリティーイベント参加；7名

イベント案内

- 12月 5日（月） 18:30～クリスマスチャリティービンゴパーティー開催
会費；8,000円 ホテルモントレエーデルホフ札幌

クラフトピックス・表彰

チャーターメンバーの竹内幸枝会員にZONTA賞と、お誕生日のプレゼントとバラを新会長より渡し、とても喜んでもらえた。



秋田

*会長
福田二代

*会員数
9名

活動報告

- 8月 21日 例会
- 8月 28日 新井元仙台ADを迎え、歓迎会を行った。
- 9月 18日 例会

国連機関との共同目的である国際ゾンタ4つのプロジェクトが、どのような進捗状況にあるのか？ 専門の連絡員が担当しているよう。また、ゾンタ活動の5つの柱は、抽象的過ぎて、実際に難儀を感じるという印象である。

イベント案内

- 9月 26日 バザー（手持ちの出品品目が少なくなってきており、方式の変更の必要あり）
- 10月 30日 健康セミナー；小泉耳鼻咽喉科医院院長 小泉達朗先生より、高齢者にみられる鼻・喉の話の伺う

福島

*会長
山川多美子

*会員数
11名

活動報告

- 8月 4日 ウクライナの歌姫ナターシャグジーコンサートを終えて 反省会
- 8月 8日 レ・アントルメ様よりの寄付お菓子；子ども食堂へ寄付贈呈
山川会長、松浦副会長、國分会員委員長出席 國分会員宅にて
- 8月 29日 理事会 例会 ウクライナの歌姫ナターシャグジーコンサート収支決算報告
レ・アントルメ様よりの寄付お菓子を子ども食堂へ寄付贈呈報告
- 9月 16日 2022年度総会 例会 地区名簿作成について
クラブロゴに関するリクエスト；
広報委員長より国際ゾンタの新しいキャッチフレーズ
“Build a Better World for Women and Girls”が採択されたこと
を受け、各クラブのロゴの変更の有無の確認案内
ふくしま市民活動2022のご案内；日時 2022.11.3（木）10:00～16:00
次回例会；10/21予定
連絡、報告；アメリカ・イアハート奨学金委員長より募集要項が届く
27地区のニュースレター2022年7月号



レ・アントルメ様
よりの寄付お菓子を
子ども食堂に寄付
園分会員宅
PM7:30~



6月11日地区大会PartⅡにおいて、会員リクルート賞を頂き大変名誉なことであり、園分会員委員長はじめとして会員一同とてもうれしく思っております。活動の基盤である会員増強に委員長はじめとして会員一丸となって取り組んだ成果だと思っています。

まずはゾンタを知ってもらう事からと、ゾンタのリーフレットを、市の機関、施設、公民館コンサートホール等、人が多く集まる場所に置いていただくことにしました。また、今はクリスマスパーティー等コロナで開催できませんが、イベント開催等には、お手伝いして頂きゾンタの活動を知っていただきました。例会では、適任者の情報交換をし、会員委員長、会長が面会をして会員増強に繋げました。どれが会員増強につながったのか正解はありませんが今までの会員の目に見えない努力の成果かと思えます。これからも設立30周年に向けて、精進致します。

山川



活動報告

*会長
土屋 覚

*会員数
13名

- 8月 4日 例会 コロナ感染拡大により中止
- 8月 11日 イオン天童店における黄色いレシート活動
- 8月 31日 山形大学医学部小児科から絵本等寄贈に対する感謝の受領書届く
- 9月 1日 例会 山形ゾンタのエンブレムが完成し、会員に配分；写真
- 9月 11日 イオンモール天童店における黄色いレシート活動
- 9月 15日 理事会
- 9月 21日 コロナ禍における女性つながりサポート事業として；県とタイアップして、経済的な理由で整理用品を購入できない女性に対する支援とサポートおよび「女性の心と体を大切に」のゾンタ精神に基づき、大学、高校、専門学校、母子施設、福祉施設などに対して生理用品の配布を実施中。関係機関から大変感謝されている。（約10箇所配布予定）；写真
- ～継続中

イベント案内

10月 2日 チェリアフェスティバル参加；会場でフリーマーケットを実施予定



山形エンブレム製作（2種類）



コロナ禍における女性のつながりサポート事業
立教大学に対する生理用品の寄贈
(32袋入り2箱)

男性会員として入会した経緯、感想、会長としての心構え

別のボランティア活動（山形市指定運動推進委員）で一緒になったあるゾンタ会員に、ゾンタ主催の講演会に誘われ、出席した。それまでゾンタについては未知だったが、それをきっかけに入会を勧められた。が、私は男4人兄弟、高校、大学、クラブも運動部で女性と縁がなく、職場も男社会、で、女性だけの中で奉仕活動をするには精神的に無理だと思った。おそらく男性は女性だけの会には入会したのではないのか。当時の松村会長がもう一人男性会員を誘い、それならばと、共に入会した。会員の中には、別の奉仕活動で男性と活動を共にする方もおられると思うので、複数人に声をかけるとよいと思う。声をかけないと一歩も進まない。

ゾンタは会員個々の能力は高いが、活動の目的が「女性の地位の向上、暴力の根絶」など、達成感が認識しづらいような気がする。仕事であれば業務目的を立て、仕事をした結果を検証できるが、ゾンタ活動は努力の結果が検証しづらいのではないのか。言い換えれば、目標に対して活動内容が乖離しているようで、やりがい、言い換えるなら満足感が得られにくいように思う。ウテ・シュルツ国際会長からの「2年間に4つのプロジェクトで変化をもたらす」という目標も、内容が具体的に心に響きにくい。日本、しかも山形で活動する我々は何をどのように活動すればよいのか。世界各国で状況は異なるので、ウテ会長の意向を受け、それを十分に咀嚼し、日本ではこのような活動を行うと、ぜひ指針を示して頂きたい。

会長としての心構え：

- ①喜び（達成感）を感じられる活動目標の設定；活動が楽しくなければ長続きしないと考える。活動に喜びを持つには、結果が手にとるようにわかることだと思う。そのためには、達成感のある目標を具体的に明示することが大切。例えば、今回のコロナ禍での生理用品の関係機関に対する配布は、大変に感謝され、達成感が得られた。
- ②同じ目的を持った組織、団体との共同による活動及び情報交換；ゾンタ以外の同じような目的を持つ組織と共に行動できれば、より大きな成果が得られるだろう。時にはゾンタの殻を破って、他組織と情報交換をし、新しい発見をし、相互理解と絆を深めたいと思う。
- ③男性的視点；多角的な視点による活動がよりベターであり、男性目線による活動をプラスして、ゾンタを充実させたいと思う。

土屋

